



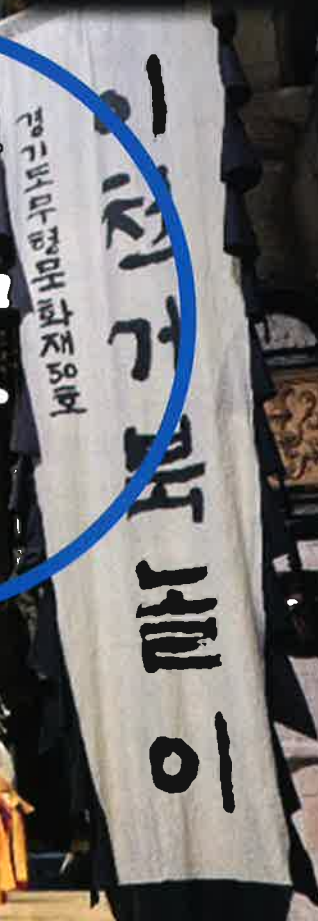
甲賀市市制施行 20 周年記念

日韓文化交流友好親善公演

Cultural Exchange Program

이천
利川
ICHEON

고카
甲賀
KOKA



甲賀市の姉妹都市 韓国 利川市より「亀遊び保存会」来日公演
～ユネスコがつなぐ 本場サムルノリと

瀧樹神社のケンケト踊りのコラボレーション～

2024年9月29日(日)14:00 開演

甲賀市 あいこうか市民ホール

入場無料
要整理券
先着 500 名



特別出演 小佐治すいりょう太鼓

主催：一般社団法人 甲賀市国際交流協会 共催：甲賀市、甲賀市教育委員会

後援：在日本大韓国民団滋賀地方本部、(公財)滋賀県国際協会、滋賀県国際交流推進協議会
(一社)甲賀市観光まちづくり協会、信楽町観光協会、甲賀ロケーション推進協議会

※入場整理券は お近くの地域市民センター、まるーむ、あいこうか市民ホール、市役所 3F 政策推進課、甲賀市国際交流協会事務局(0748-63-8728)にて お求めください
※この日はホール周辺一帯で記念イベントが行われます。できるだけ公共交通機関(近江鉄道 水口城南駅 下車)をご利用いただきご来場ください

利川亀遊び保存会によるサムルノリの演奏と演舞



甲賀市の姉妹都市のひとつである大韓民国・利川市は、韓国有数の米どころで、古くから豊作を願う祭礼「亀遊び」が行われています。「亀遊び」は、キビワラでつくられた長寿を象徴する亀を中心に、楽器を持ったサムルノリ隊が1年の豊作と村の安寧を祈りながら家を一軒ずつ回るもので、現在は利川市のみで行われており、伝統民族遊びが京畿道無形文化財第50号に指定されています。また、2010年には、韓国初の工芸および民俗芸術分野ユネスコ創造都市に指定され、「利川亀遊び保存会」により、その伝統民族遊びが受け継がれています。

今回は、甲賀市市制施行20周年への祝意を込めて、文化交流公演団と利川文化院市民訪問団の皆様が来日されることになり、「日韓文化交流友好親善公演～ユネスコがつなぐサムルノリとケンケト踊りのコラボレーション～」と題して、亀遊び保存会によるサムルノリの演奏や演舞を披露していただくことになりました。

姉妹都市 大韓民国京畿道「利川市」

人口約232,000人。京畿道の東南部に位置し、都市と農村が調和した田園都市で、主要国道が通過する交通の要衝地として優れた産業立地条件があることから、次々と外国企業の本社機能が利川市に進出してきています。また、世界最高の美質を誇る利川米、乳白色で糖度の高い桃、土と火、そして陶芸家が重なり、伝統陶磁器をつくる世界陶芸の中心を成した都市です。2010年7月には、世界陶磁ビエンナーレや陶磁器祭りなどの国際レベルの祭り運営と専門的な陶磁業務を担当できる専門組織が整っていることなどが認められ、韓国初の工芸および民俗芸術分野ユネスコ創造都市に指定されました。



交流のきっかけとこれから

1999年、陶磁器が交流の媒介となり利川文化院と信楽町観光協会の交流が始まり、それを機に信楽町と利川市の姉妹都市提携が結ばれました。以後、人と文化の交流により友情の炎が途絶えることなく活発な交流が行われてきました。

2005年には改めて甲賀市と利川市が姉妹都市提携をし、様々な分野での交流が活発になるよう関係各所と連携しながら利川市との友好関係を築いてきました。多くの市民の皆様を支えていただきながら、ともに育んできた友情と信頼関係により、これからの交流がお互いのまちの地域活性化や経済交流にも発展することを願っています。

オープニング 「小佐治すいりょう太鼓」

忍者のまちとして知られる甲賀市甲賀町は古くから薬業が盛んで、現在も多くの製薬会社が甲賀市の地域経済を支えています。また、甲賀町小佐治地域は古琵琶湖層の粘土層の土壌で滋賀羽二重餅の栽培に適し、皇室に餅を献上していました。しかし、重粘土質のため米作りには大変な労力を要したといわれ、現在でも小佐治地区に伝わる「すいりょう節」(市指定無形民俗文化財)の一節にその苦勞が唄われています。

1997年、「すいりょう節」を伝承していこうと「すいりょう節」を和太鼓曲に創作し「小佐治すいりょう太鼓」が発足しました。2000年8月にはアメリカ・ミシガン公演を行なうなど発足当初から活発に活動を展開。夏の恒例イベントとなった「和太鼓サウンド夢の森」は、すいりょう太鼓のメンバーが中心となって開催されています。

ユネスコ無形文化遺産「風流踊」「瀧樹神社のケンケト踊り」

令和4年(2022年)11月30日、甲賀市に伝わる「瀧樹神社のケンケト踊り」を含む「風流踊」が、ユネスコ無形文化遺産に登録されました。

甲賀市甲賀町岩室、土山町前野・徳原に伝わる「瀧樹神社のケンケト踊り」は、毎年5月3日の春祭りで奉納され、孔雀や山鳥などの羽根で作ったシャガマを被った踊り子の子ども達が、神社や地域の各所で囃子に合わせて踊りを披露します。

「風流踊」とは、華やかな、人目をひく、という「風流」の精神を体現し、衣装や持ちものに趣向をこらして、歌や笛、太鼓、鉦などに合わせて踊る民俗芸能のことです。室町時代の末期、祇園祭の露払いや囃子が風流の芸能として大流行し、やがて除災や死者供養、豊作祈願、雨乞いなど、安寧な暮らしを願う人々の祈りが込められ、各地の風土や歴史に応じて各地に伝わっていきました。



前野・徳原、岩室の三地区が持ちまわりで行なっているケンケト踊りは、本年は岩室区が担当であったことから、今回の日韓文化交流友好親善公演には、岩室区のケンケト踊り保存会の皆様はじめ地域の皆様にご協力いただくことになりました。

問合せ：一般社団法人 甲賀市国際交流協会 ☎0748-63-8728

FAX：0748-70-6468 メール：mifa@mx.biwa.ne.jp

〒528-0023 滋賀県甲賀市水口町本丸1番20号 みなくるプラザ 甲賀市多文化共生センター

あいこう市民ホール

